キャラクター名
クエレブレ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス キュマイラ	ワークス	傭兵	カヴァー	傭兵
オプショナル		年齢	48くらい	性別	男
覚醒	渇望	衝動	吸血	初期侵食率	100 %
出自	貧乏	経験	闘いの日々	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	2			7
感覚	2	0	0			2
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	35
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達		
運転：軍用車	2		芸術：			知識：			情報：軍事	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
戦闘体勢/マイナー @100-	白兵	14r+3	2	23+5d10		侵蝕13+4d10/完全獣化+究極獣化+一角鬼+歴戦の獣牙/攻撃力11+12+5d10/装甲値10
@160-	白兵	16r+3	2	27+6d10		攻撃力12+15+6d10/装甲値10
@220-	白兵	18r+3	2	31+7d10		攻撃力13+18+7d10/装甲値10
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
野獣本能	P	N		
大事な人たち（かつての部下たち）	P　庇護	N ○悔悟		
心の中の影（かつての裏切り者）	P　執着	N ○憎悪		
シナリオ：ホワイトホール	P ○信頼	N　不安		
朝賀菫	P ○連帯感	N　困惑		
イザナ・フックス	P ○親近感	N　困惑		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：C値-Lv（下限7）								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：シーン中、【肉体】を使用した判定ダイス+[Lv+2]個/エフェクト効果持続中、素手以外のアイテムの装備・使用不可								
究極獣化	4	4d10	マイナー	至近	自身	-	120↑	
効果：＜完全獣化＞の効果中のみ使用可/攻撃のダメージ+(Lv)D、装甲値+10/シーン終了または完全獣化の効果が失われるまで持続する								
一角鬼	5	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果：シーン中、素手のデータを　種別:白兵/技能:<白兵>/命中:0/攻撃力+[Lv+5]/G値:2/射程:5m　に変更								
歴戦の獣牙	3	4	マイナー	至近	自身	-	リミット	
効果：＜一角鬼＞か＜破壊の爪＞と組み合わせて使用/組み合わせたエフェクトの効果中、素手の攻撃力にさらに+[Lv*3]								
ペネトレイト	1	3	メジャー	武器	-	白兵,射撃	-	
効果：装甲値無視/この攻撃の判定ダイス-1個								
神獣撃	1	2	メジャー	武器	単体	白兵	-	
効果：《完全獣化》の効果中のみ使用可/攻撃力+[Lv+2]D/このエフェクトを使用したメインプロセスの終了時、《完全獣化》の効果が解除される								
復讐の刃	2	6	オート	至近	単体	白兵	-	
効果：対象から自分に攻撃を行われた際、リアクションの直前に使用/リアクションを放棄して白兵攻撃を行う/組み合わせた攻撃の判定のC値-Lv（下限7）/対象はこの攻撃にリアクション不可/他のエフェクトとの組み合わせ不可								
血染めの獣	2	4	オート	至近	自身	-	120↑/吸血	
効果：自分が白兵攻撃で1点でもHPダメージを与えた際に使用/シーン間の白兵攻撃の攻撃力+10/効果は3回まで重複/シナリオLv回								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【プロファイル】

かつての彼は強靭で、また心優しい人間だった。
スラム出身で家族はおらず、自身が率いる歴戦の傭兵団『クエレブレ』の部下たちが家族のようなものだった。
オーヴァードとそうでない者が入り混じっていたが、彼らもまた、自身と同じく身寄りのない者たちだ。
苛烈で残酷なこの世界で生き抜くために、各地の戦争に赴く日々を送っていた。

しかし、人間の醜い争いは得てして悲劇を生み出すものだ。
ある戦争で、クエレブレは味方のはずだった勢力に裏切られる。
クエレブレの活躍を疎んじた者たちが、戦争に乗じて団を潰そうとしたためだ。
当然、幾多の被害が出た。殺された部下もいた。
元の戦争よりも惨憺たる状況の中で、すこしでも多くの部下たちを守るため、彼は限界まで戦った。
その結果は言うまでもない。

彼は人の原型を留めぬ化け物となって戦場で暴れまわったが、
部下の機転により討伐はなんとか免れ、彼らの懇願により（紆余曲折あって）治療を受けることになる。
ジャームであることは間違いないのだが、なぜか、衝動に囚われ血に飢えているはずの彼が部下たちを傷つけることはなかった。
理由など、偶然、と言えばそれまでなのかもしれない。

彼は、化け物となったことで仮初めの安穏を手に入れた。

現在の彼が覚えているものと言えば、自身が貧しい生まれであり、